

教育長だより No. 11

2021年7月7日

【改訂版】

個別懇談にむけて ～ 保護者対応のコツとは？ ～

学校ではいよいよ1学期を締めくくる保護者懇談会ですね。そのコツとはどんなものでしょうか？ 私が気づいたことを書き留めてみます。他にも、近くのベテランの先生に聞いてください。就学前の先生方にとっても、保護者対応の基本となることだと思います。

はじめに．．．一番大事なことは「時間厳守」

決してだらだらと話してはいけません。終了時間を守り、次の人の開始時間を守ること。だれでも「待たされる」というのは、いいことではありません。気持ちも下がります。

1. 身だしなみ

服装や髪型などにも気を配りましょう。『人は見た目が9割』（新潮新書）という本も出ています。長いつき合いができればあなたの本当のよさがわかってもらえますが、教員にとって、それは子どもだけです。何もファッション誌をまねすることはありません。清潔感のある服装で。男性の無精ひげや鼻毛はもつてのほかです。もちろん、「しかめっ面(つら)」は厳禁です。あくまでも「笑顔」で。背筋を伸ばして対応しましょう。

2. できれば「お客様対応」

(1) はじめ

「どうぞ、お入りください。」と入り口まで迎えに行く。入室されたら、「どうぞ、お座りください。」と言ってから自分もすわる。

(2) 終わり

「ありがとうございました。」と、立ってあいさつする。そして、出口まで見送しましょう。

3. 懇談内容 (順不同)

(1) 通知表(「あゆみ」など)の簡単な説明と学校での子どもの様子をからめて話しましょう。

次の2つの面から話すと、学校での子どもの様子が保護者さんにかなり伝わります。

①授業にかかわること．．．学習中のエピソードなど、2～3の具体例をあげて話しましょう。

(中学校では、他の教科担当の先生に聞いておくのが一番です。特に、成績が低迷している教科や、上がったたり下がったりして変動のある教科は必ず聞いておく。)

②学校生活にかかわること．．．日ごろの友だち関係や休み時間の様子、掃除、給食、係り活動やクラブ、児童会・生徒会など。1～2例を具体的に話す。

⇒ 裏面へ

(特に中学校では、担任が生徒と学校生活を共に過ごす時間が少ないので、本人をほめるエピソードを他の先生や生徒などからも2〜3例集めておくといいですよ。)

(2) 保護者からの質疑への応答

いじめのことや児童・生徒の悩み、学級のトラブルなど、担任が気づいていないことが出てきたら、素直に「ありがとうございます。さっそく本人に聞いてみます。」とか、「一度調べてからご返事させていただきます。」「校長と相談します。」などと返しましょう。**わからないのに、あやふやな返答をしたり対策を述べたりしてはいけません。**(これは、どんな時もそうです。)

(3) 夏休みや2学期にむけての話(『学年通信』や生指の『夏休みにむけて』などを活用)

文面に書いてあることを長々と話してはいけません。**読んだらわかることは省きます。**特に保護者さんをお願いしたいことや、担任として子どもに期待していることを少しだけ話しましょう。

※ 注意 = マイナス面の話は逆効果!

懇談会に来られた保護者さんに「ここぞ!」とばかり子どもの課題(日ごろの悪いところ)を言いくるめというのは最低です。ほとんどの保護者さんは、わが子のいいところと課題をある程度把握されています。その上に担任からマイナス面をどつと言われたら、やるせないですね。

担任と保護者の信頼関係づくりに逆効果であることは、明らかです。まずは信頼関係を第一に。

⇒**子どものいいところを5つ伝えたら、最後に課題を1つ話す程度に**しておきましょう。

※ おまけ(事前準備) = ちょっとしたネタを用意すると効果的です。

(1) 写真

学級の1学期のいろんな写真があれば、画用紙などに貼って待合室(廊下など)に置く。いつの何の写真かがわかる短いコメントも入れておくとさらにいいですね。

(2) 子どもの文章

「1学期をふり返って」などの子どもの作文が用意できれば、それを懇談時に保護者に見せて話をすると、より具体的に子どもの姿が伝えられます。(もちろん、事前準備が必要ですが・・・)

(3) プラスのエピソードなど

懇談時に保護者に話できる材料(エピソードなど)を、5〜6個メモしておくで安心です。(それを全部伝える必要はありません。時間オーバーになってしまいます。2学期になってから、家庭訪問や電話したついでに話せばいいんです。)

(4) コンパクト&インパクト

話はコンパクトにまとめましょう。「だらだら」は、時間の浪費とあなたの印象を悪くします。また、インパクトのある話ができれば最高です。短く、印象に残る話を心がけましょう。

(5) 保護者の発言を保障

担任が一方向的に説明して「終わり」という懇談は、マイナスです。保護者さんの子どもの見方や考え方など、発言を保障することが大切です。また、時間は短いですが、子育ての悩みや困っていること、生き立ちなどが聞けば最高です。(それだけ担任への信頼が厚いということです。)

(6) 環境づくり

懇談場所(教室など)の掲示物や掃除、エアコン、待っていただく廊下に置く椅子や資料などはちゃんとできていますか? 隣のクラスや先輩の教室を見てみるといいですよ。自分では気づかないことを発見できます。

また、先輩に教室を見てもらうのもいいのでは? では、みなさんのいい懇談会を期待しています。